

部の運営方針・課の目標設定書(令和2年度)

部コード	15	部名	教育総務部	部長名	丸 智彦
1. 部の運営方針(予算編成・実施計画策定方針などを踏まえて、基本計画の分野別計画や重点プロジェクト、所管に係る分野別基本計画の目標を考慮して、部の目標を達成するための方針を記入)				部の運営方針に対する課の目標への取組結果	
<p>○ 「我孫子市教育大綱」と「我孫子市教育振興基本計画」に基づき、教育行政を推進します。</p> <p>○ 学校教育の充実(「豊かな心の育成」、「確かな学力の育成」、「健やかな体の育成」)の推進を図り、『生きる力』の育成に努めます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「主体的・対話的で深い学び」の視点で学力向上に努めます。 ・『小中一貫教育の推進』に努め、各中学校区で作成したランドデザインを達成すべく支援します。また、小中一貫教育基本方針に基づき作成した共通カリキュラムを、全中学校区で計画的に教育課程に組み込んで進められるよう支援します。 ・幼保小連携については、「交流」と「カリキュラム」で連携を深めていきます。 ・市費で配置している外国語指導助手(ALT)、ICT教育支援員、理数教育支援員、学校司書、スクールサポート教員、学級支援員等会計年度任用職員の効果的な活用と配置に努めます。 ・「我孫子市学校職員の働き方改革推進プラン」に基づき、教職員が、生き生きと健康でやりがいを持って子どもに向き合える環境となるよう取り組みます。 ・Q-U検査及びいじめアンケートを継続して実施し、個々の子ども達へのきめ細かな対応に取り組むとともに学級経営を支援します。 ・給食における地産地消の推進をはじめ食に関する教育の充実やスポーツに関する教育を通して体力の向上に努めます。 ・「学校施設個別施設計画」に基づき、子ども達が安心して快適に学べる教育・学習環境をつくります。 ・信頼される学校づくりを推進するため、教職員のモラルアップ研修等を積極的に実施します。教育委員会と各学校の連携を密にし、風通しの良い組織体制と職場環境整備に取り組みます。 <p>○ 地域に根ざした教育の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・郷土の歴史や文化に関する教育を充実させて郷土愛の育成を図ります。 ・学校評価、学校支援地域ボランティア活動、キャリア教育などを推進し、学校と家庭・地域が一体となった教育と開かれた学校づくりを目指します。 <p>○ 子どもの成長、自立への支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自立への支援を図るため、就学支援制度などの活用を推進します。 ・いじめ防止対策推進条例及びいじめ防止対策基本方針に基づき、いじめを人権侵害と認識し未然防止に取り組みます。また、関係機関とも連携して取り組み、健全に子どもが成長できるよう引き続き支援していきます。 ・不登校等の児童生徒を支援するために、学校、保護者、子ども相談課、こども発達センター等と一層の連携を図ります。 ・不登校の改善を目的としているヤング手賀沼は、20校目の学校として位置づけ環境整備します。 				部の運営方針に対する部全体の総合評価	
<p>2. 課の目標(部の運営方針を受けて課の取組方針を記入)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・個に応じたよりきめ細かな学習指導ができるようスクールサポート教員等の配置を適正に行います。 ・健康な子どもを育てるために学校給食の充実を図ります。栄養教諭を中核とした「食に関する指導ハンドブック」の活用を図るとともに、給食に「我孫子産野菜の日」を設けるなど地産地消を推進します。 ・児童が安全で安心な学校生活が送れるよう小学校に安全管理員を配置するとともに、通学路の安全点検、保護者及び地域住民への見守りの協力、学校施設、設備、備品の充実を図り教育環境を整えます。 ・学校評議員会議で学校評価を実施するなど、地域に開かれた学校づくりを一層推進します。 ・平成30年度に策定した「我孫子市立小中学校職員の働き方改革推進プラン」を学校職員、保護者、地域住民へ周知するとともに、改革内容を各学校が実践できるよう指導支援を継続していきます。また、安全衛生委員会において実践を振り返りPDCAサイクルで改善していきます。 					
3. 課の目標を達成する上での課題と対応(人員の配置、組織のあり方など)					
課内の学務、保健給食担当がそれぞれの事業を受け持っているが、繁忙期には的確かつ迅速に処理を要するため、担当間での協力、連携が極めて重要である。					

課コード	02	課名	学校教育課	課長名	鈴木 与志実
2. 課の目標(部の運営方針を受けて課の取組方針を記入)				部の運営方針に対する課の目標への取組結果	
<p>・個に応じたよりきめ細かな学習指導ができるようスクールサポート教員等の配置を適正に行います。</p> <p>・健康な子どもを育てるために学校給食の充実を図ります。栄養教諭を中核とした「食に関する指導ハンドブック」の活用を図るとともに、給食に「我孫子産野菜の日」を設けるなど地産地消を推進します。</p> <p>・児童が安全で安心な学校生活が送れるよう小学校に安全管理員を配置するとともに、通学路の安全点検、保護者及び地域住民への見守りの協力、学校施設、設備、備品の充実を図り教育環境を整えます。</p> <p>・学校評議員会議で学校評価を実施するなど、地域に開かれた学校づくりを一層推進します。</p> <p>・平成30年度に策定した「我孫子市立小中学校職員の働き方改革推進プラン」を学校職員、保護者、地域住民へ周知するとともに、改革内容を各学校が実践できるよう指導支援を継続していきます。また、安全衛生委員会において実践を振り返りPDCAサイクルで改善していきます。</p>					
3. 課の目標を達成する上での課題と対応(人員の配置、組織のあり方など)					
課内の学務、保健給食担当がそれぞれの事業を受け持っているが、繁忙期には的確かつ迅速に処理を要するため、担当間での協力、連携が極めて重要である。					

4. 原因分析・改善策	
(課長)	(部長)

5. 課の目標を達成するために取り組む事務事業									
事務事業名(個別事業)	重 該 当	施策 コード	指標	単位	現況値	目標値	実績値	達成率(%)	評価
1 スクールサポート教員の配置事業	重無	52102	スクールサポート教員の配置人数	人	7	7			
2 小中学校配置職員管理事業	重5	52101	臨時職員配置定数(臨時用務員17名、事務補佐員6名、嘱託職)	人	24	24			
3 教育扶助(要保護・準要保護児童生徒就学援助)事業	重4	52301	学校長の請求に基づき支給。	%	100	100			
4 児童・生徒・教職員健康診断事業	重5	52101	実施者数/児童・生徒・教職員健診対象者	%	98	99			
5 我孫子市学校保健会運営	重5	52101	生活習慣病予防検診実施者/対象者	%	48	80			
6 日本スポーツ振興センター災害共済給付・任意保険給付事業	重5	52101	日本スポーツ振興センター災害共済申請事務件数	件	833	800			
7 学校給食備品管理事業	重5	52101	計画表に基づく、備品の設置率	%	78	80			
8 学校給食管理運営事業	重5	52101	安心・安全でおいしい学校給食の実施率	%	100	100			
9 我孫子産米及び我孫子産野菜の学校給食の導入事業	重5	52101	我孫子産米・野菜が給食で使用されていることを知っている児童	%	88.9	90			
10 学校の環境衛生事業	重4	52104	基準値内校/全19校	%	53	100			

5. 課の目標を達成するために取り組む事務事業										
	事務事業名（個別事業）	重 施 該 当	施 策 コ ー ド	指 標	単 位	現 況 値	目 標 値	実 績 値	達 成 率 (%)	評 価
11	小中学校管理運営事業	重4	52104	予算執行率	%	100	100			
12	小学校の安全管理員の配置	重4	52104	未事故であった小学校	校	13	13			
13	小中学校備品管理事業	重4	52104	予算執行率	%	100	100			
14	学校評議員制度の充実	重無	52201	学校評議員による学校評価及び改善への学校の取組み状況。	%	80	90			
15	小中学校給食調理業務の民間委託事業	重無	83202	円滑な給食調理業務の民間委託実施校数	校	18	18			
16	学級編制及び学籍管理（法令に基づく適切な事務）事業	重4	52104	適切な事務の遂行。	%	100	100			
17	学校給食施設設備整備事業	重5	52101	修繕・工事の実施率	%	100	100			

部の運営方針・課の目標設定書(令和2年度)

部コード	15	部名	教育総務部	部長名	丸 智彦
1. 部の運営方針(予算編成・実施計画策定方針などを踏まえて、基本計画の分野別計画や重点プロジェクト、所管に係る分野別基本計画の目標を考慮して、部の目標を達成するための方針を記入)				部の運営方針に対する課の目標への取組結果	
<p>○ 「我孫子市教育大綱」と「我孫子市教育振興基本計画」に基づき、教育行政を推進します。</p> <p>○ 学校教育の充実(「豊かな心の育成」、「確かな学力の育成」、「健やかな体の育成」の推進を図り、『生きる力』の育成に努めます。)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「主体的・対話的で深い学び」の視点で学力向上に努めます。 ・『小中一貫教育の推進』に努め、各中学校区で作成したランドデザインを達成すべく支援します。また、小中一貫教育基本方針に基づき作成した共通カリキュラムを、全中学校区で計画的に教育課程に組み込んで進められるよう支援します。 ・幼保小連携については、「交流」と「カリキュラム」で連携を深めていきます。 ・市費で配置している外国語指導助手(ALT)、ICT教育支援員、理数教育支援員、学校司書、スクールサポート教員、学級支援員等会計年度任用職員の効果的な活用と配置に努めます。 ・「我孫子市学校職員の働き方改革推進プラン」に基づき、教職員が、生き生きと健康でやりがいを持って子どもに向き合える環境となるよう取り組みます。 ・Q-U検査及びいじめアンケートを継続して実施し、個々の子ども達へのきめ細かな対応に取り組むとともに学級経営を支援します。 ・給食における地産地消の推進をはじめ食に関する教育の充実やスポーツに関する教育を通して体力の向上に努めます。 ・「学校施設個別施設計画」に基づき、子ども達が安心して快適に学べる教育・学習環境をつくります。 ・信頼される学校づくりを推進するため、教職員のモラールアップ研修等を積極的に実施します。教育委員会と各学校の連携を密にし、風通しの良い組織体制と職場環境整備に取り組みます。 <p>○ 地域に根ざした教育の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・郷土の歴史や文化に関する教育を充実させて郷土愛の育成を図ります。 ・学校評価、学校支援地域ボランティア活動、キャリア教育などを推進し、学校と家庭・地域が一体となった教育と開かれた学校づくりを目指します。 <p>○ 子どもの成長、自立への支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自立への支援を図るため、就学支援制度などの活用を推進します。 ・いじめ防止対策推進条例及びいじめ防止対策基本方針に基づき、いじめを人権侵害と認識し未然防止に取り組みます。また、関係機関とも連携して取り組み、健全に子どもが成長できるよう引き続き支援していきます。 ・不登校等の児童生徒を支援するために、学校、保護者、子ども相談課、こども発達センター等と一層の連携を図ります。 ・不登校の改善を目的としているヤング手賀沼は、20校目の学校として位置づけ環境整備します。 				<p>部の運営方針に対する部全体の総合評価</p>	



課コード	03	課名	指導課	課長名	戸塚 美由紀
2. 課の目標(部の運営方針を受けて課の取組方針を記入)				部の運営方針に対する課の目標への取組結果	
<p>○ 子どもたちに学習指導要領の示す「生きる力」を育むために、基礎的・基本的な知識・技能を確実に身につかせ、思考力・判断力・表現力などを育成する教育を小中一貫教育の視点を持ち推進していきます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人生を拓く「確かな学力」を育てるために、教職員の資質能力向上に向けた各種研修を充実させます。 ・言語活動の充実、体験的活動の充実、道徳教育の充実を図り、豊かな心の育成、望ましい人間関係の育成を図ります。 ・全国学力・学習状況調査及び市独自の学力テストの結果を有効に活用し、実践の検証を行うとともに、指導の評価・改善を継続的にいきます。 ・健やかな体の育成を目指し、教育活動全体を通じた体力の向上推進を図るとともに、食に関する教育に努め、健康教育を推進します。 ・ICT(情報通信技術)環境の整備を進めるとともに、インターネットや携帯端末を活用する上で重要な情報モラルの教育を進め、情報化社会に参画する態度の育成を図ります。 ・子どもたちの発達段階に応じたキャリア教育を推進するとともに、学校支援地域本部など地域で学校教育を支える仕組み作りを支援します。 ・小学校における外国語教科化および国際理解教育推進のため、ALTの配置とその効果的な活用に努めます。 ・外国語・外国語活動において小中学校の円滑な接続ができるように、小学校教員、中学校教員とALT(外国語指導助手)との連携を密にします。 ・『小中一貫教育の推進』に努め、各中学校区のランドデザインを基に、学校と保護者そして地域がお互いに協働し合いながらそれぞれの中学校区の特徴を生かした教育を展開していけるように支援します。 ・ふるさと我孫子を愛し、誇りに思う子どもを育成するため、地域の資源を生かした学習を進めていきます。 ・いじめ防止対策推進条例及び基本方針を踏まえ、市としての防止施策の実施及び各学校の防止具体策を支援します。また、いじめ防止対策委員会を年3回開催し、専門的かつ客観的な視点から、市及び学校における課題およびその防止策について検討し、その改善に努めます。 ・学校図書館の計画的活用を通して、児童生徒の主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善に努めます。また、児童生徒の自主的・自発的な学習活動や読書活動を充実させるため、学校図書館利用に伴う学校司書の効果的配置及び活用に向けた研修会や取組を進めます。 				<p>3. 課の目標を達成する上での課題と対応(人員の配置、組織のあり方など)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・外国語・外国語活動の充実のため、ALTの増員及び指導方法に関する研修が必要です。 ・いじめの防止及び発生事案に対する対応を適切に行うために、きめ細かな学校への支援が必要です。 ・学校図書館環境の充実を図るため、学校司書の日常的配置とその効果について検証する必要があります。 ・学校支援地域本部事業推進のために、組織と連絡会議の充実が必要です。 	



4. 原因分析・改善策	
(課長)	(部長)

5. 課の目標を達成するために取り組む事務事業									
事務事業名(個別事業)	重 プ 該当	施策 コード	指標	単位	現況値	目標値	実績値	達成率(%)	評価
1 キャリア教育の推進	重無	52201	「Abi-キャリア」を自校の教育課程(年間指導計画)に明示した	校	6	10			
2 国際理解教育の推進	重無	43102	ALTの年間のべ勤務日数	日	2,592	2,592			
3 学校支援事業の充実	重無	52201	学校への支援ボランティアに参加したのべ人数	人	42,062	45,000			
4 学力向上推進事業	重無	52102	標準学力調査結果の活用法研修会を授業改善に活かしたか(アン	%	62.3	70			
5 小中学校体育・文化活動事業	重5	52101	市内の体育活動や小中体育連盟等の活動費助成割合	%	100	100			
6 教職員資質向上推進事業	重無	52102	教育委員会主催研修会受講者の満足度(アンケート調査)	%	90	90			
7 少年センター業務	重4	52302	触法少年への積極的な声かけ活動の展開で安全な暮らしを確保す	人	750	800			
8 小中学校コンピュータ教育の推進	重無	52102	教育用コンピュータ1台あたりの児童生徒数	人	9.49	9.21			
9 子ども議会	重無	52202	子ども議員の意見の数	数	0	38			
10 ふるさとカリキュラムの実施	重無	52202	補助教材「ふるさと我孫子の先人たち」を活用した授業を実施し	%	100	100			

5. 課の目標を達成するために取り組む事務事業										
事務事業名（個別事業）		重 施 該 当	施 策 コ ー ド	指 標	単 位	現 況 値	目 標 値	実 績 値	達 成 率 (%)	評 価
11	学級経営の支援	重無	52102	Q-U検査の結果や今後の学級経営について複数で検討した学級	%	100	100			
12	幼保小連携	重5	52101	「我孫子市幼保小連携・接続カリキュラム」を基にテーマを設定	地区	0	5			
13	小中一貫教育の推進	重4	52103	各中学校区ごとの小中一貫合同研修会の実施	中区	0	6			
14	いじめ防止対策事業	重4	52302	我孫子市いじめ防止等に関する施策の実施	回	8	8			
15	学校図書館活用の推進	重無	52102	教育課程内で、授業者が学校図書館や市民図書館の図書を活用し	校	0	6			

部コード	15	部名	教育総務部	部長名	丸 智彦
1. 部の運営方針(予算編成・実施計画策定方針などを踏まえて、基本計画の分野別計画や重点プロジェクト、所管に係る分野別基本計画の目標を考慮して、部の目標を達成するための方針を記入)				部の運営方針に対する課の目標への取組結果	
<p>○ 「我孫子市教育大綱」と「我孫子市教育振興基本計画」に基づき、教育行政を推進します。</p> <p>○ 学校教育の充実(「豊かな心の育成」、「確かな学力の育成」、「健やかな体の育成」の推進を図り、『生きる力』の育成に努めます。)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「主体的・対話的で深い学び」の視点で学力向上に努めます。 ・『小中一貫教育の推進』に努め、各中学校区で作成したランドデザインを達成すべく支援します。また、小中一貫教育基本方針に基づき作成した共通カリキュラムを、全中学校区で計画的に教育課程に組み込んで進められるよう支援します。 ・幼保小連携については、「交流」と「カリキュラム」で連携を深めていきます。 ・市費で配置している外国語指導助手(ALT)、ICT教育支援員、理数教育支援員、学校司書、スクールサポート教員、学級支援員等会計年度任用職員の効果的な活用と配置に努めます。 ・「我孫子市学校職員の働き方改革推進プラン」に基づき、教職員が、生き生きと健康でやりがいを持って子どもに向き合える環境となるように取り組みます。 ・Q-U検査及びいじめアンケートを継続して実施し、個々の子ども達へのきめ細かな対応に取り組むとともに学級経営を支援します。 ・給食における地産地消の推進をはじめ食に関する教育の充実やスポーツに関する教育を通して体力の向上に努めます。 ・「学校施設個別施設計画」に基づき、子ども達が安心して快適に学べる教育・学習環境をつくります。 ・信頼される学校づくりを推進するため、教職員のモラールアップ研修等を積極的に実施します。教育委員会と各学校の連携を密にし、風通しの良い組織体制と職場環境整備に取り組みます。 <p>○ 地域に根ざした教育の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・郷土の歴史や文化に関する教育を充実させて郷土愛の育成を図ります。 ・学校評価、学校支援地域ボランティア活動、キャリア教育などを推進し、学校と家庭・地域が一体となった教育と開かれた学校づくりを目指します。 <p>○ 子どもの成長、自立への支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自立への支援を図るため、就学支援制度などの活用を推進します。 ・いじめ防止対策推進条例及びいじめ防止対策基本方針に基づき、いじめを人権侵害と認識し未然防止に取り組みます。また、関係機関とも連携して取り組み、健全に子どもが成長できるよう引き続き支援していきます。 ・不登校等の児童生徒を支援するために、学校、保護者、子ども相談課、こども発達センター等と一層の連携を図ります。 ・不登校の改善を目的としているヤング手賀沼は、20校目の学校として位置づけ環境整備します。 				部の運営方針に対する部全体の総合評価	



課コード	04	課名	教育研究所	課長名	遠藤 美香
2. 課の目標(部の運営方針を受けて課の取組方針を記入)				部の運営方針に対する課の目標への取組結果	
<p>1. 特別支援教育を充実させ、児童生徒一人一人の教育的ニーズに対応する教育を進めていきます。</p> <p>(1) 教育研究所アドバイザー事業や巡回事業等を通して、児童生徒の支援の充実及び特別支援教育コーディネーターを核にした校内委員会の機能充実と強化に努めます。</p> <p>(2) 児童生徒への指導・支援が適切かつ効果的に行われるよう、教育課程の再考と個別の教育支援計画・指導計画の作成と活用の充実を図ります。</p> <p>(3) 児童生徒の将来を見据えた切れ目ない支援に向けて、関係機関との連携を療育・教育システム連絡会で図ります。</p> <p>(4) 保護者が児童生徒の実態に合わせた就学先を選択できるように、教育支援委員会の適切な運営と就学相談の充実を図ります。</p> <p>2. 長欠児童生徒対策の強化をしていきます。不登校の予防・解消が図られるよう、学校との協力体制を強化して、児童生徒及び保護者を支援していきます。</p> <p>(1) 心の教室相談員(在宅訪問指導員)や我孫子市適応指導教室「ヤング手賀沼」、教育研究所等の関係機関と学校との連携を密にし、支援体制を強化して学校教育を支えていきます。</p> <p>(2) 長欠対策連絡協議会を充実させ、学校と関係機関との連携とともに、小・中学校間の接続を円滑にして、連携をさらに強化します。</p> <p>(3) 適応指導教室「ヤング手賀沼」は、機能を強化するとともに施設のあり方及び施設整備についてさらに検討を進め、個別施設計画を作成します。</p> <p>3. 地域学習の充実を図るため、社会科副読本「わたしたちの我孫子」及び学習図鑑「ふるさと手賀沼」の次回改訂に向けた編集作業を進めます。</p> <p>4. 「小中学生のためのいじめ・悩み相談ホットライン」を継続し、引き続き関係機関と連携しながら、いじめの早期発見・早期対応に努めるとともに、児童生徒の困り感の軽減や解消に努めます。</p>				部の運営方針に対する課の目標への取組結果	
3. 課の目標を達成する上での課題と対応(人員の配置、組織のあり方など)					
<p>1. 相談事業やアドバイザー事業の推進と充実のために、学校とのさらなる連携が必要である。</p> <p>2. 児童生徒個々の教育的ニーズに対応した支援を充実させるために、特別支援教育の拡充を図る。</p> <p>3. 不登校のさらなる解消を図るために、関係機関と学校との密接な連携や小中学校間の接続を円滑にする取組み、家庭支援を組織的に行うことが必要である。</p> <p>4. ヤング手賀沼を20校目の学校と位置づけ、学校と同等の教育が受けられるように整備する。</p>					



4. 原因分析・改善策	
(課長)	(部長)

5. 課の目標を達成するために取り組む事務事業									
事務事業名(個別事業)	重づけ該当	施策コード	指標	単位	現況値	目標値	実績値	達成率(%)	評価
1 教育支援委員会の運営	重4	52301	相談人数・審議人数	%	100	100			
2 小中学校教師用教科書及び指導書の配付	重無	52102	授業についてのアンケート調査による満足度	%	84.2	90			
3 教職員研究論文集の発行	重無	52102	論文内容の充実度	%	90	100			
4 学級支援員派遣事業	重4	52301	対象児童生徒への配置率	%	100	100			
5 教育研究所巡回事業	重4	52301	「個別の教育支援計画・個別の指導計画」作成率	%	95	100			
6 特別支援教育に関する研修会	重4	52301	受講者の理解度及び満足度(受講者へのアンケートによる)	%	85	100			
7 教育研究所アドバイザー事業	重4	52301	アドバイザーの支援が役に立った率・満足度(全校にアンケート)	%	80	100			
8 就学相談事業	重4	52301	就学相談で助言した就学先と保護者が選択した就学先の一致率	%	86.5	80			
9 長欠対策事業	重4	52301	受理した相談の解消率	%	60	70			
10 教育相談・発達相談事業	重4	52301	継続ケースの保護者にアンケートを実施し、相談の満足度をはか	%	97.3	100			

5. 課の目標を達成するために取り組む事務事業										
事務事業名（個別事業）		重 施 該 当	施 策 コ ー ド	指 標	単 位	現 況 値	目 標 値	実 績 値	達 成 率 (%)	評 価
11	適応指導教室「ヤング手賀沼」の運営	重4	52301	ヤング手賀沼に通級している児童生徒の出席率	%	53	60			
12	副読本(社会科副読本「わたしたちの我孫子」)の改訂	重無	52202	内容を検討し指導計画及び評価問題を改訂した割合	%	80	100			
13	副読本(学習図鑑「ふるさと手賀沼」)の改訂	重無	52202	当該年度の第8版編集作業計画のうち実施した割合	%	80	100			
14	小中学生のためのいじめ・悩み相談ホットライン	重4	52302	児童生徒の相談件数	件	40	50			